

いとう純一市政だより

いとう純一事務所
〒232-0044
横浜市南区榎町2-51
TEL045-315-3115
FAX045-315-3175
Emai itou@bell.ocn.ne.jp
発行日 2018年7月5日

南区プラン「南区のまちづくり」改訂へ

都市計画マスタープラン（南区プラン）は、2004年に策定されました。10年以上が経過し、現在改定作業が進められ、区民の意見募集（7月）を行ったうえで、年度内に改定されることとなります。

改定案へのご意見やご要望がございましたら、いとう純一事務所までご連絡ください。

【改定のポイント】

人口減少社会の到来と超高齢社会の到来を踏まえた方針の改定

上位計画や関連計画、全体構想の策定・改定に合わせた構成の再編と方針の整合

地域課題の変化やまちづくりの進捗に合わせた方針の時点修正の3点となっています。

具体的なまちづくりの方針（抜粋）は以下の内容となっています。

(1)土地利用の方針

多世代が暮らしやすく、安全で快適な住環境をつくっていきます。

区のにぎわいや活力形成につながる良好な商業、業務、工業等の環境を維持し、地域のニーズや、立地環境に合わせた適正な土地利用を誘導していきます。

(2)都市防災の方針

～大規模な災害に備え、建物の不燃化・耐震化、木造住宅密集市街地など地域の環境改善や都市基盤の適切な更新を進めることで、災害に強い、持続可能なまちづくりを推進します。

犯罪の防止、交通安全対策を進めることにより、安心・安全な地域の住環境を整えていきます。

(3)都市交通の方針

道路の適切な維持管理や基盤整備により円滑な交通を確保していきます。また狭あい道路の拡幅、沿道の不燃化・耐震化等による、災害に強い交通環境づくりを進めます。

安全に移動できる歩行者空間の整備、今後の社会状況の変化や適正な需要を踏まえた身近な交通の維持・充実、駅とその周辺などのバリアフリー化等を進め、子どもから高齢者、障害者など、誰もが楽しく快適に移動できる環境をつくります。

(4)都市環境の方針

残された自然の保全をはかるとともに、身近な生活の中で水と緑の環境のうるおいが感じられるまちづくり、次世代に引き継いでい



きます。

効率的なエネルギー利用や3Rの推進、ヒートアイランド対策、水循環への配慮等、地球温暖化防止や都市環境問題などに取組み、環境にやさしいまちを目指します。

(5)都市の魅力・活力の方針

南区に引き継がれてきた、様々な人・まちの魅力をも、まちづくり

の貴重な資源として活用し、ふれあいと安らぎのある、活力あふれるまちづくりを推進します。

地域の課題に住民が自ら取り組む、地域主体のまちづくりを支援することにより、子ども、高齢者、障害者、外国人など、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めます。

なんでも法律相談（無料）

専門の弁護士が対応いたします。

お気軽に、いとう純一事務所まで
ご連絡ください。

TEL 045-315-3115
FAX 045-315-3175

ブロック塀の改善・撤去に関する緊急の取り組み

6月18日、大阪府北部を震源とする地震により小学校のブロック塀が倒壊し、女子児童が犠牲になりました。心から哀悼の意を表します。

横浜市は、公共建築物（2056施設）と市立学校（509校）を対象に調査を実施し、建築基準法の基準を満たさない疑いのあるブロック塀等が89施設で確認されました。南区内は、井土ヶ谷小学校、日枝小学校、南吉田小学校、横浜商業高校、

資源循環局南事務所の5施設で、既に注意書きや市民・児童が立入れないよう囲い等で緊急措置を施しました。

今後、改善が必要な施設については、速やかに必要な措置を講じるよう求めています。

また、いとう純一の所属する会派（民権フォーラム横浜市会議員団）としても、横浜市長・教育長に対して、「89施設について、早急に専門家による調査を行い、補修・撤去が必要な施設については期

限を切って迅速に対応すること」「通学路や緊急度の高い学校施設については、極力夏休み期間中に必要な対策を終えること」などと求め、迅速な対応を求める緊急要望書の提出を行いました。

公共建築物に限らず、ご自宅等の塀の安全対策も急務です。まずは、国土交通省のホームページの「ブロック塀の点検のチェックポイント」で点検することをお勧めします。ひとつでも不適合があれば改善が

必要です。

また、市建築局情報相談課（671-2953）では、ブロック塀に関する一般的な相談を行っています。まちの避難経路確保のための危険な塀の除却や狭あい道路に面する塀の移設等、ブロック塀の除却・移設・改善等に係る助成制度もあります。安全点検の結果、危険性が確認された場合には専門家へご相談ください。また、いとう純一事務所にもお問い合わせください。

いとう純一は立憲民主党で奮闘します

まっとうな政治を取り戻そう！

立憲民主党神奈川県連は、6月29日に開港記念会館において「安倍政権下でいま、起きていることを問う」と題した集会を開催しました。集会には、東京新聞社の社会部記者、望月衣塑子氏をお招きし、「モリカケ疑惑」をはじめとして安倍政権下で進む政治の私物化と瓦解する官僚たちの動向について、詳しいお話がありました。望月記者は記者として「権力側が隠そうとすることを明るみに出すこと」をテーマとして、貴重な体験を基にした講演でした。

立憲民主党の神奈川県連は3月4日に設立されました。いとう純一は、この機に立憲民主党に入党し、いのち、雇用、暮らしを守るため、引き続き南区民の皆様の声に応えていきたいと改めて決意いたしました。そして、立憲民主党県連は6月1日に来春の統一地方選挙の第1次公認予定候補者を発表し、いとう純一（南区市会）が公認予定候補者となりました。

枝野代表からも熱い激励を受けました。



立憲民主党神奈川県連
緊急行動

7月22日（日）11:00～ 横浜駅西口